



動きだした朝見谷山元貯木場



問 林業振興を

答 支援を考えていく

中山

山元貯木場が開設しこれから木が動きだす。作業道や日照の悪い箇所伐採の補助等、振興に向けた支援を。

池田町長

搬出間伐へのつぎ足し、作業道や保育間伐への補助をしているが、関係者と議論を重ねて効果的な支援を考えていく。生活に支障のある日陰の伐採は現行の事業で実施していく。

問 林業での雇用拡大を

答 環境整備をしていく

中山

林業での技術習得には長い期間を要する。やる気のある若者に一定期間の生活の保障をする等、町外からの定住促進へのシステム作りを。

池田町長

若い方が林業を生活の場とできるよう、できる限りの環境整備をしたい。育成には県が林業学校を検討しているので、注視し期待している。

問 交通費の助成を

答 考えていない

中山

企業誘致が100%近く無い現状である。若者を増やすために高知市を通勤圏と考え、交通費の助成などの施策を考えるべきではないか。

池田町長

広域での企業誘致には取り組むべきと考えている。若者が住む環境整備をし、住んでもらって町外に仕事を求めてもらうことには応援するが、交通費の支給は企業によって考えの違いがあり、行政が取り組む考えはない。

問 農業の研究部会を

答 現行の支援体制で

中山

雇用の場合は、現状では農業が一番の手近にある。農協との研究部会を立ち上げ、やる気のある若者に生活を保障できる農業を提示できるようにしては。

池田町長

担い手育成では五年後の所得目標を300万円で設定し、初期投資への補助事業の導入や、ミヨウガ・シシトウを主体とした品目の選定等をJA、高知県との体制でサポートしている。黒川産業建設課長
二年間の研修制度で年間180万円、人・農地プランに登録した就農支援が五年間で年間150万円の支援が受けられ、認定農業者を目指している。